

平成30年中の交通事故発生状況

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	死者数	増減数	増減率
全国	3,532	-162	-4.4%
管区計	490	+12	+2.5%
富山	54	+17	+45.9%
石川	28	-6	-17.6%
福井	41	-5	-10.9%
岐阜	91	+16	+21.3%
愛知	189	-11	-5.5%
三重	87	+1	+1.2%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数
平成30年	4,860	91	6,394
平成29年	5,648	75	7,442
増減数	-788	+16	-1,048
増減率	-14.0%	+21.3%	-14.1%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	11	7	6	4	7	9	7	5	5	7	10	13
平成29年	5	6	4	10	4	8	8	10	7	5	6	2
増減数	+6	+1	+2	-6	+3	+1	-1	-5	-2	+2	+4	+11

(4) ブロック別の死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
平成30年	33	23	12	8	8	7
平成29年	26	12	9	13	9	6
増減数	+7	+11	+3	-5	-1	+1

【平成年度の死者数推移】

年別	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
年間死者数	247	272	246	263	236	239	268	219	251	249	202	222	224	203	186	194	157	155	164	141	125	133	102	121	125	93	106	90	75	91
指数	100	110	100	106	96	97	109	89	102	101	82	90	91	82	75	79	64	63	66	57	51	54	41	49	51	38	43	36	30	37

2 死亡事故(91件、91人)の特徴

死者数は91人で、前年の年間死者数(75人)を16人上回った。全国での岐阜県の位置(ワースト順位)は、死者数14位、増減数4位、増減率4位。

(1) 高齢者の死者が6割強(前年比+10人)

高齢者の死者が56人(前年比+10人)で全死者(91人)の61.5%を占めた。このうち歩行者の死者が25人で、高齢死者の44.6%と目立ち、特に道路横断中の死者が19人(うち横断歩道横断中が7人)と目立った。

(2) 歩行者の死者が3割強(+11人)

歩行者の死者が29人で前年より11人増加し、全死者の31.9%を占めた。このうち、道路横断中の死者が22人で、特に横断歩道横断中が9人と目立った。また、歩行者の死者のうち夜間での被害が18人と目立った。

(3) シートベルト非着用者が4割

自動車乗車中の死者41人のうち、非着用者が16人(運転者13人、同乗者3人)で、着用対象者40人(適用除外者1人除く)の40.0%を占め、13人(81.3%)はシートベルトを着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

(4) 車両相互事故が4割強(前年比+13件)

車両相互事故が38件で前年より13件増加し、全事故(91件)の41.8%を占めた。特に、正面衝突が14件(前年比+6件)で、このうちカーブ事故が10件と目立った。

《参考》

- 高齢運転者事故は27件で全運転者事故の31.8%。(前年23件:34.8%)
- 若年運転者事故は6件で全運転者事故の7.1%。(前年11件:16.7%)
- 女性運転者事故は25件で全運転者事故の29.4%。(前年15件:22.7%)
- 飲酒関係事故は5件5人(前年:7件7人)
- 二輪車乗用中の死者が12人(前年比+4人)で、うち単独事故での死者が7人
- 国道(高速を含む)での事故は32件(+7件)、市町村道での事故は32件(+5件)

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は12人で、前年より2人増加。 ※12月末現在で死亡を確認したもの

状態別	歩行者	自転車	自動二輪	原付	自動車
	3	4		1	4
年齢層別	子供	24歳以下	25~59歳	60~64歳	高齢者
		1	4	2	5

年別	S23	S24	S25	S26	S27	S45
年間	79	81	82	90	92	317

※ S23は現行の統計制度開始。S45は死者数のピーク